

公倍数の問題

組 番

月 日

正答数

名前

/ 1



●最小公倍数を使って、問題を解くことができる。

要点チェック

公倍数の考え方を使って、問題を解く。

例 同じ長方形の紙をすきまなくしきつめて大きな正方形をつくるとき、正方形の1辺の長さは長方形の縦と横の長さの公倍数になる。

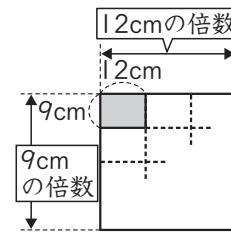
例題

縦9cm、横12cmの長方形の紙をすきまなくしきつめて正方形をつくります。このとき、いちばん小さい正方形の1辺の長さは何cmですか。

しきつめてできる正方形の1辺の長さ
は、9cmと12cmの②に
なります。
そのうち、いちばん小さい正方形の
1辺の長さは、9cmと12cmの
①で、③ cm

④ 9と12の最小公倍数の求め方
9の倍数 9, 18, 27, ⑤, 45, ...
12の倍数 12, 24, ⑥, ...

ポイント



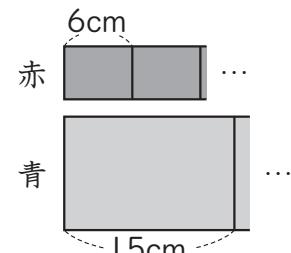
答え

- Ⓐ 公倍数
- Ⓑ 最小公倍数
- Ⓒ 36

答え ④ cm

問題

横の長さが6cmの赤いタイルと15cmの青いタイルがあります。右の図のように、それぞれすきまなく横に1列に並べていきます。横の長さがはじめて同じになるのは何cmのときですか。



[]

公倍数の問題

30cm

!ワンポイントアドバイス

並べたタイルの横の長さは、

赤のタイル…6cmの倍数

青のタイル…15cmの倍数

はじめて同じになるのは、

6cmと15cmの最小公倍数30cmのときである。